

令和7年度  
事業計画書

令和7年 4月 1日から

令和8年 3月31日まで



公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団

## 基本方針

定款に定めた財団の目的である4つの柱に沿って、令和7年度は次のとおり事業計画を定め、取り組んでまいります。

**学術振興及び知識普及啓発**の取組としては、広く日本全国の若手研究者を候補とする『木原記念財団学術賞』を実施するとともに、長期的な視点に立って神奈川県内の小・中学生の科学の芽を育むため、『木原記念こども科学賞』を実施します。

当該両輪の賞をもって、木原均博士の志を汲み、一時の潮流・時流にとらわれることのない、息の長い、一貫した人材育成施策を実施します。

**共同研究開発等の企画及び推進**の取組としては、企業や大学が互いの強みやアイデアを活かした共同研究開発の企画・プロジェクト化を後押しし、開発を進めるうえでの課題となる資金獲得等を支援するとともに、自らも我が国の生命科学分野における役割期待に応えるべく、新たなプロジェクトの創出に向けて取り組みます。

**産業活性化の支援**の取組としては、横浜市のライフサイエンス分野関連施策の中心的な支援機関として、横浜市内中小企業・スタートアップ等の製品や技術を発信するための各種企画を推進し、技術連携・ビジネス創出の機会を増やし、マッチング機会の創出を目指します。

また、末広地区の立地を有効に活用したアカデミア、ベンチャー、企業との連携を進めます。

**産業集積・技術支援のための研究開発施設の設置・管理運営**の取組としては、バイオベンチャー等の集積拠点である『横浜バイオ産業センター（YBIC）』について、パッケージエアコンの更新等、長期修繕計画に基づく計画的な修繕を実施し、研究開発の良好な環境を提供します。

以上4つの柱に沿った取組を実施し、神奈川県内、横浜市内を拠点とする生命科学の振興とその応用による産業の活性化に寄与するよう尽力します。

昨年度から取り組みを開始したライフサイエンス技術を用いたGX、脱炭素領域での産業活性化は継続するとともに、今年度から新たにYBIC入居企業とのライフサイエンス技術を活用したバイオものづくり連携を開始します。

# I 生命科学に関する学術振興及び知識普及啓発事業

(令和7年度：8百万円、令和6年度：7百万円)

## 1 学術奨励事業

### (1) 木原記念財団学術賞【公益目的事業区分（以下「区分」）：表彰・コンクール】

生命科学の分野で優れた独創的研究を行っており、今後のさらなる発展が期待できる研究者（満50歳以下）について、学会、大学、公的研究機関、過去の受賞者に推薦を依頼し、応募者の中から選考の上、最も優れた研究者に第34回「木原記念財団学術賞」を授与します。

令和5年度に完成した30周年記念誌を引き続き活用し、プレゼンス向上に資するような情報発信等を継続して実施します。

#### 【実施予定】

- ・募集期間：令和7年6月～9月
- ・選考：選考委員による選定
- ・授賞式等：令和8年6月

## 2 知識普及啓発事業【区分：表彰・コンクール、体験活動等】

### (1) 木原記念こども科学賞

長期的な視点に立って神奈川県内の小・中学生の科学の芽を育むため、作品を募集・選考し、小学校低学年・高学年・中学校の各部門において優れた作品を第33回「木原記念こども科学賞」として表彰します。また、応募者へ手厚く支援ができるよう、寄附金や協賛を引き続き募っていきます。

#### 【実施予定】

- ・募集期間：令和7年7月～9月
- ・選考：選考委員により、各部門最優秀賞、優秀賞、努力賞等選定
- ・表彰式：令和7年12月

## 3 情報発信【区分：その他】

財団のホームページや財団の有するネットワークを通じて、生命科学の振興に役立つ情報を発信します。

また、一般市民にも財団の活動を周知できるよう、広報活動の拡大に努めます。

## Ⅱ 生命科学に関する共同研究開発等の企画及び推進事業

(令和7年度：34百万円、令和6年度：14百万円)

### 1 共同研究【区分：技術開発・研究開発、講座・セミナー・育成、相談・助言】

#### (1) 共同研究開発の創出・推進

神奈川県域に立地する生命科学分野の中小企業・スタートアップや大学・研究機関等が連携する、社会実装が有望視される研究開発プロジェクトの創出・推進を支援します。

また、研究開発を推進するため、国等の公的助成金を活用したプロジェクトの創出に取り組みます。

今年度は、経済産業省関東経済産業局の補助事業「令和6年度中小企業政策推進事業費補助金(成長型中小企業等研究開発支援事業)」に令和6年10月に採択された研究開発について、引き続き、事業管理機関として研究の支援を行います。

研究テーマ：骨格筋損傷委縮に対する薬剤治療の幕を開ける「外肛門括約筋損傷による便失禁治療剤」の研究開発

上限額：2,192万円

#### (2) 大学・研究機関の研究・産学連携支援

神奈川県域に立地する生命科学分野の大学・研究機関等の研究・産学連携を支援します。令和7年度はこれまで受託してきた横浜市立大学の研究支援・産学連携支援URA業務を強化し、当該大学の研究資金の獲得・成果の社会展開・プロジェクト管理等を行います。また、令和7年度は個別の研究課題にプロジェクトマネージャーとしてより深く携わります。具体的には横浜市立大学が推進する「共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)」関連のプロジェクトを始めとした大学発の研究プロジェクトを企画段階から支援していきます。

### 2 研究開発等助成事業【区分：助成(応募型)】

#### (1) 横浜市トライアル助成事業

中小企業・スタートアップや大学・研究機関等の研究成果、臨床ニーズ等の実用化に向け、アイデアを具体化する試作品開発やデータ検証等にかかる費用を助成します。

【助成率・助成限度額・助成件数】10/10以内

中小企業・スタートアップ等 200万円/3件、大学・研究機関等 100万円/4件程度

## Ⅲ 生命科学の応用による産業活性化の支援事業

(令和7年度：26百万円、令和6年度：35百万円)

### 1 事業化支援【区分：相談・助言、講座・セミナー・育成】

横浜市補助事業を軸として、横浜市内を主とした中小企業・スタートアップ等に対する以下のような支援を通じ、健康・医療分野およびバイオテクノロジーを用いたGX・脱炭素分野を中心としたライフサイエンス産業の活性化を図ります。

#### (1) BIBLIOの運営

研究開発シーズの事業化支援の一環として、研究開発情報や専門知識、人的ネットワークに効率的にアクセスしてアイデア創出を促す拠点、「BIBLIO」を引き続き運営します。

各種支援・情報発信窓口として、以下3点を中心に事業を運営する予定です。

- ・コーディネータ等の専門家による相談体制を整備し、中小企業・スタートアップ、大学研究機関等からの様々な相談に応じます。
- ・知識集積型の相談窓口として、中小企業・スタートアップ、大学研究機関等が市場調査資料や専門書を閲覧できるように、健康・医療分野の文献、雑誌、市場調査データ等の配架を行います。
- ・横浜市内中小企業・スタートアップ等の最先端の技術を紹介し、技術連携・企業の研究開発および戦略立案・人材育成など幅広いテーマのセミナー等を開催します。

#### (2) マッチング機会の創出

市内中小企業・スタートアップ・アカデミア等の研究開発・技術の実用化に向け、市内大手企業とのマッチングやネットワーキングの機会創出を行う展示会「Innovation Showcase」を開催します。大手企業からニーズの発表、中小企業等から技術プレゼンテーションおよびパネル展示等を行い、参加者間のネットワーキングを促進するためマッチングを支援します。

「見て」「聴いて」「話す」プログラムの実施により、市内中小企業・スタートアップ・アカデミア等が外部と連携し、研究開発、事業化を進めるための支援を行います。

過去2回のInnovation Showcaseおよび、令和5年度まで毎年度開催していた過去7回のクロスイノベーションカンファレンスに参加した54社の異分野大手企業と構築したネットワークに加え、新たな大手企業を発掘することで、新たな連携開始のための機

会を創出します。

市内中小企業・スタートアップ・アカデミアのマッチング機会創出および販路開拓に資する、マッチングイベントおよび展示会出展等の支援を行います。

### (3) 横浜市トライアル助成事業【区分：助成（応募型）】（再掲）

中小企業・スタートアップや大学・研究機関等の研究成果、臨床ニーズ等の実用化に向け、アイデアを具体化する試作品開発やデータ検証等にかかる費用を助成します。

### (4) バイオジャパン2025出展支援

横浜市、川崎市と連携してバイオジャパン2025内にパビリオンを設け、域内に立地する中小企業・スタートアップ等の出展や販路拡大を支援します。

### (5) 個別支援等

中小企業・スタートアップ等への個別訪問・ヒアリング等により、生命科学分野で事業を行う際の課題に応じた助言、コーディネータ等の専門家相談対応、外部機関とのマッチング、必要に応じたプロジェクト組成と伴走、助成金獲得等の個別支援を実施します。

## 2 ネットワーク促進、活用事業（マッチング）【区分：その他】

### (1) 横浜・神奈川バイオビジネス・ネットワークの運営

横浜・神奈川バイオビジネス・ネットワークを活用し、産業活性化に資する情報発信等を行います。

### (2) バイオベンチャーアライアンス（BVA）の運営

中小企業・スタートアップ等、大学、金融機関等の連携体であるBVAの中核機関として事務局機能を担い、会員間の交流促進や研究開発助成に係る公募情報等の提供、企業間連携のコーディネーションなどの支援を行います。令和7年度は連携体としての運営体制の整理・規程類等の見直しを含め、組織整備等を行います。

### (3) 「Zero Carbon Yokohama」の推進

国立遺伝研究所宮城島進也先生が進めるZero Carbonの取り組みに関して昨年度立ち上げた「微細藻類研究会」をベースに支援を継続し、推進します。

#### (4) YBIC内連携の推進

バイオものづくりに関連するYBIC内ベンチャー企業間でのネットワーク構築を推進し、新たな価値創造に向けた取り組みを開始します。

### **3 出展支援・広報【区分：展示会・〇〇ショー、相談・助言、講座・セミナー・育成】**

※受託が決定することを停止条件とします。

横浜市内の中小企業・スタートアップ等の技術や製品を国内外にアピールし、技術連携やビジネスの創出につなげます。

#### (1) バイオジャパン2025出展支援（再掲）

横浜市、川崎市と連携してバイオジャパン2025内にパビリオンを設け、域内に立地する中小企業・スタートアップ等の出展や販路拡大を支援します。

#### (2) 自主イベントの開催

寄附と財団自主財源による、スタートアップや研究開発支援もしくは、数年後に実施される大型イベントの準備に資する情報発信プログラム実施します。

#### (3) 障害事業所に対するIT導入に関する調査分析・支援

横浜市健康福祉局より令和6年度下期に受託した「横浜市障害福祉施設における介護テクノロジー導入に向けた課題の調査分析(個別調査)」業務を発展させ、「障害事業所に対するIT導入に関する調査分析・支援業務」を横浜市健康福祉局より受託する事を目指します。本事業では障害福祉施設における様々な課題を整理・分析し、IT導入による課題解決を目指す横浜市の障害福祉政策の支援を行います。

### **4 クラスタ連携【区分：その他】**

#### (1) クラスタ連携

バイオ産業支援機関ネットワーク会議の事務局として地域のクラスタを支援する公的機関、研究機関等と定期的に交流を行い、各地域の支援内容や成功事例等を共有するとともに、地域の枠を越えた共同研究・事業連携等の創出に取り組みます。

## IV 生命科学に関する産業集積・技術支援のための研究開発施設の 設置及び管理運営

令和7年度：120百万円、令和6年度：149万円)

### 1 横浜バイオ産業センター（YBIC）事業【区分：施設の貸与】

バイオ産業集積の拠点となる横浜バイオ産業センター（YBIC）の運営を通じ、研究開発の場を提供（賃貸）し、また、研究開発や事業化に係る各種情報を随時提供することにより、中小企業・スタートアップ、大学・研究機関等を支援します。

運営にあたっては、消防訓練などを実施するとともに、防犯監視盤やパッケージエアコンの更新等、長期修繕計画に基づく計画的な修繕を実施し、安全性の高い研究環境を提供するとともに、環境の維持、質的向上を図ります。なお、エアコンの更新にあたっては、省エネタイプの機種を導入するなど、脱炭素にも貢献した施設の維持管理を図ります。